

一次救命処置

乳児に対する CPR

スキルテストチェックリスト (1/2)



受講者名 _____ テスト日 _____

病院内のシナリオ：「あなたは病院または診療所で勤務しています。そこへ、乳児を抱いた女性が走りこんできました。女性は「助けてください！この子が呼吸していないんです」と叫んでいます。あなたは手袋とポケットマスクを持っています。あなたは同僚に頼んで緊急通報をしてもらい、救急治療用器材を取ってきてもらいます。」

病院搬送前のシナリオ：「あなたは呼吸をしていない乳児がいる現場に到着しました。バイスタンダー（その場に居合わせた人）による CPR は行われていません。現場に近づき、安全を確認しました。その次に何を行うかを示してください。」

評価と通報

- 反応を確認する
- 大声で助けを呼ぶ／救急対応システムに出動を要請する
- 呼吸を確認する
- 脈拍を確認する

受講者が助けを呼んだら、インストラクターは「ここに感染防護具があります」と言う。

CPR サイクル 1 (30 : 2) *正確性のため、CPR フィードバック装置が好ましい。

乳児に対する胸骨圧迫

- 質の高い胸骨圧迫を行う*：
 - 乳児の胸部中央の乳頭間線のすぐ下に 2 本の指または両母指を置く
 - 15～18 秒間に 30 回の圧迫を行う
 - 胸部の厚みの少なくとも 3 分の 1 (約 4 cm) の深さまで圧迫する
 - 圧迫を行うたびに胸壁が完全に元に戻るまで待つ

乳児に対する人工呼吸

- 感染防護具を使用して人工呼吸を 2 回行う：
 - 1 回の人工呼吸は 1 秒かけて行う
 - 1 回の人工呼吸ごとの目視可能な胸の上がりを確認する
 - 10 秒以内に胸骨圧迫を再開する

CPR サイクル 2 (サイクル 1 の手順を繰り返す) 各手順の実施が完了できた場合のみ、口をチェックする

- 胸骨圧迫
- 人工呼吸
- 10 秒以内に胸骨圧迫を再開する

救助者 2 がバグマスクを持って到着し、人工呼吸を開始する。その間、救助者 1 は胸郭包み込み両母指圧迫法による圧迫を継続する。

CPR サイクル 3

救助者 1：乳児に対する胸骨圧迫

- 質の高い胸骨圧迫を行う*：
 - 胸郭包み込み両母指圧迫法で 15 回圧迫する
 - 7～9 秒間に 15 回の圧迫を行う
 - 胸部の厚みの少なくとも 3 分の 1 (約 4 cm) の深さまで圧迫する
 - 圧迫を行うたびに胸壁が完全に元に戻るまで待つ

救助者 2：乳児に対する人工呼吸

この救助者は評価対象ではない。

(続き)

乳児に対する CPR スキルテストチェックリスト (2/2)



受講者名 _____

テスト日 _____

(続き)

CPR サイクル 4

救助者 2：乳児に対する胸骨圧迫

この救助者は評価対象ではない。

救助者 1：乳児に対する人工呼吸

- バッグマスクを使用して人工呼吸を 2 回行う：
 - 1 回の人工呼吸は 1 秒かけて行う
 - 1 回の人工呼吸ごとの目視可能な胸の上がりを確認する
 - 10 秒以内に胸骨圧迫を再開する

テスト終了

インストラクターメモ

- 受講者が正常に完了した手順に対応する□に✓を記入する。
- 受講者がすべての手順を正常に完了できなかった場合（つまり、チェックされていない□が残っている場合）、その受講者は補習を受ける必要がある。補習を必要とするスキルについて、ここにメモしておくこと（補習については、インストラクターマニュアルを参照）。

テスト結果 合格の場合は合格、補習が必要である場合は要補習を○で囲む。

合格

要補習

インストラクターのイニシャル _____ インストラクター番号 _____ 日付 _____